

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

セーリング競技リハーサル大会

高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会
第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
2026年全日本セーリング選手権大会



共同主催 公益財団法人日本セーリング連盟 JSAF承認番号（2026-23, 24, 25, 26）
全日本実業団ヨット連盟 セーリングスピリッツ協会
日南市 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ日南市実行委員会
日南市教育委員会 宮崎県セーリング連盟

後 援 日本470協会 日本スナイプ協会 日本420協会
一般社団法人日本レーザークラス協会
日本ウインドサーフィン協会
宮崎県 宮崎県教育委員会
公益財団法人宮崎県スポーツ協会
日南市スポーツ協会
日本のひなた宮崎国スポ・障スポ実行委員会

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ セーリング競技リハーサル大会

高松宮記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会 第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 2026年全日本セーリング選手権大会

目 次

挨拶・歓迎のことば	2
競技日程・会議日程	7
式典次第	8
大会役員	9～10
競技役員	11～13
競技補助員、競技会補助員	14
レース公示	15～25
帆走指示書	26～36
大会出場者名簿	37～55
過去の栄冠（全日本実業団選手権）	56～59
会場配置図・周辺図	60
関係機関連絡先	61
チャイルドルームのご案内	62
プログラム記載事項訂正届	63



ご 挨 拶

公益財団法人日本セーリング連盟
会 長 馬 場 益 弘

日本のひなた宮崎国スポ セーリング競技リハーサル大会が、全国から多くの選手・役員の皆様をお迎えし、宮崎県日南市大堂津特設セーリング会場において盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。本大会は、高松宮妃記念杯第72回 全日本実業団ヨット選手権大会、第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会を中心に、全国的に普及している艇種を複合させた全日本選手権大会でもあります。

本大会の開催にあたり、多大なるご尽力をいただきました日南市、日本のひなた宮崎国スポ・障スポ日南市実行委員会、日南市教育委員会をはじめ、準備に奔走された宮崎県セーリング連盟、ならびに後援いただきます日本470協会、日本スナイプ協会、日本420協会、一般社団法人日本レーザークラス協会、日本ウインドサーフィンを協会、宮崎県、宮崎県教育委員会、公益財団法人宮崎県スポーツ協会、日南市スポーツ協会の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

選手諸君におかれましては、日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮し、本番の舞台となるこの宮崎の素晴らしい海と風をいち早く掴むとともに、全国の同志と競い合い、互いの技術と友情を深める素晴らしい機会としてください。また、運営面におきましても、本大会を成功へと導くための貴重な検証の場であります。安全を最優先に、厳々かつ円滑な競技運営が行われることを期待しております。

南国の美しい自然と「ひなた」のような温かいおもてなしに満ちたこの宮崎の地から、未来のセーリング界を担う素晴らしいセーリングが展開されることを楽しみにしています。

結びに、本大会の成功と、ご参加の皆様のご健闘、そして宮崎県セーリング界のますますのご発展を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。



ご 挨 拶

全日本実業団ヨット連盟
会長 外 尾 竜 一

高松宮妃記念杯第 72 回全日本実業団ヨット選手権大会が、宮崎県日南市 大堂津特設セーリング会場において、「日本のひなた宮崎 国民スポーツ大会」のリハーサル大会として開催されますことをお慶び申し上げます。

また、本大会の開催にあたり、公益財団法人 日本セーリング連盟、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 日南市実行委員会、宮崎県セーリング連盟 をはじめとする団体、関係する方々のご指導、ご尽力に心より感謝いたします。

さて、本大会は 1955（昭和 30）年 11 月に琵琶湖柳ヶ崎に於いて企業ヨット部の対抗戦を行ったことを起源としており、勝者に与える賜杯を、故 高松宮妃殿下より授けていただき、本年で 72 回目を迎えることになりました。

企業のセーリング活動は 1990 年代のバブル経済の崩壊後、企業ヨット部の休廃部が相次ぎ、存続するヨット部においても活動予算縮減への対応に苦慮しておりましたが、その後の経済環境が上向いた事を背景に、既存チームの活動が活性化すると共に、新しい企業ヨット部や企業を越えた同好者で結成されたクラブチームの新規参加を得て明るさが戻ってきております。

選手・監督の皆さんが日頃研鑽した技術とチームワークを遺憾なく発揮され、共に喜びに満ちた大会となり、この喜びを大会開催・運営にご尽力いただいた方々と分かち合い、明日への活力と 2027 年度の「日本のひなた宮崎 国民スポーツ大会」成功の一助となることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



歓 迎 の こ と ば

日南市長 高橋 透

全国各地からご参加いただきました選手、監督、役員の皆様、ようこそ日南市へお越しくださいました。

高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会、第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会、2026年全日本セーリング選手権大会を、ここ日南市で盛大に開催できますことは、誠に喜ばしく、日南市民を代表して心から歓迎を申し上げます。

さて、日南市は「日本のひなた」と称される宮崎県の温暖な地域であり、日向灘に面した美しい海岸線と豊かな自然に恵まれています。来年開催の「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」に向けて、選手の皆様に心のこもったおもてなしでお迎えし、人々の心に刻まれる思い出深い大会となるよう、関係団体等と一体となって開催準備を進めているところでございます。

本リハーサル大会では、日南が誇る日向灘の恵まれたセーリング環境の中で、選手の皆様が日々の練習の成果を存分に発揮いただくことを期待いたしております。

ご来県いただいた皆様には、ぜひこの機会に、雄大な海岸線、歴史と伝統、そして日南の「食」など、日南市の魅力に触れていただき、大会での成果と共に思い出をお持ち帰りいただきたいと思います。

結びになりますが、本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に敬意と感謝を申し上げますとともに、皆様のご健勝と本大会の成功をお祈り申し上げ、歓迎のことばといたします。

ごあいさつ



宮崎県セーリング連盟
会長 黒岩 保雄

このたび、第81回国民スポーツ大会「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」セーリング競技のリハーサル大会として、高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会、第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会及び2026年日本セーリング選手権大会を、ここ宮崎県日南市において開催できますことは、誠に大きな喜びであり、宮崎県セーリング連盟を代表いたしまして、心より歓迎申し上げます。

競技会場となる日南市大堂津は、大島や七ツ八重の美しい自然に囲まれた天然の良港で知られており、1979年（昭和54年）に開催された「日本のふるさと宮崎国体」の舞台にもなりました。また、この地でのセーリング競技は地元漁師の皆様の多大なる御協力により、今日まで継続して開催されております。本大会において、セーラーの皆様が日頃の練習の成果を存分に発揮され、白熱したレースが展開されますことを大いに期待しております。

当連盟といたしましても、本大会が公正かつ円滑に運営されるよう万全を期すとともに、本大会の開催をとおして、より充実した国スポ開催への足がかりにしていまいりたいと考えております。

温暖な気候と豊かな海に恵まれた日南市は、地鶏やマンゴーなどの農産物、カツオやマグロなどの水産物といった「食」の宝庫でもあります。大会期間中はもちろん、大会前後にも、日南市の温かな人々と豊かな食文化に触れていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご支援、ご尽力を賜りました関係各位に心より深く感謝を申し上げますとともに、本大会が実り多きものとなりますことを祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば



宮崎県知事 河野 俊嗣

高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会、第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会、2026年全日本セーリング選手権大会が、「日本のひなた宮崎 国スポ」セーリング競技のリハーサル大会として、開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地からここ宮崎の地にお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、心から歓迎いたします。

日本のひなた宮崎 国スポは、「紡ぐ感動 神話となれ」をスローガンに掲げ、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指しております。

参加する全ての方々が県民とのふれあいを通してきずなを深め、感動を共有できる大会となるよう、一丸となって準備を進めているところであり、全国で初めて県民からの公募により国スポ・障スポ共通の公式ポスターやメダルのデザインを決定したほか、県内各地域において「国スポ・障スポ応援団」が結成されるなど、「チームみやざき」で創りあげる国スポとして、県民がそれぞれの立場で大会に関わり、開催の気運を盛り上げる取組を積極的に実施しております。

このような中、本大会が選手の皆様にとりまして、日頃の練習の成果を存分に発揮できる場となるとともに、選手同士の交流を深め、思い出に残るすばらしい大会となることを願っています。

なお、御来県の皆様には、是非この機会に、宮崎の恵まれた自然や豊かな食、ユネスコ無形文化遺産登録候補となった神楽をはじめとする伝統文化や神話が息づく観光スポットなど、本県が誇る多彩な魅力に触れていただければ幸いです。

結びに、開催に御尽力いただいた関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御健闘を祈念し、歓迎のことばといたします。

競技日程

月 日	時 間	内 容
8月20日（木）	9：30～17：00	搬入受付
8月21日（金）	9：30～16：00	受付 ・ 計測
8月22日（土）	8：00～ 9：30 8：00～11：00 9：30～10：00 10：00～10：40 12：15	受 付 計 測 開会式 競技運営説明会 最初のクラスの予告信号時刻
8月23日（日）	9：30	最初のクラスの予告信号時刻
8月24日（月）	9：30 14：00～15：00	最初のクラスの予告信号時刻 閉会式（表彰式）

種目	8月22日（土）		8月23日（日）		8月24日（月）	
	レースエリア 予告信号時刻	レース No	レースエリア 予告信号時刻	レース No	レースエリア 予告信号時刻	レース No
470 級 470 級ミックス	A 12:15	R1 R2	A 12:00	R3 R4 R5	A 09:30	R6
スナイプ級 スナイプ級ミックス	A 12:22	R1 R2	A 12:07	R3 R4 R5	A 09:37	R6
ILCA7 級	A 14:00	R1 R2	A 09:30	R3 R4 R5	A 10:20	R6
420 級	A 14:07	R1 R2	A 09:37	R3 R4 R5	A 10:27	R6
セーリングスピリッツ級	B 12:15	R1 R2	B 09:30	R3 R4 R5	B 09:30	R6
ILCA6 級	B 12:22	R1 R2	B 09:37	R3 R4 R5	B 09:37	R6
国スポ ウインドサーフィン級 テクノ 293 級	B 14:00	R1 R2	B 12:20	R3 R4 R5	B 10:20	R6

式典次第

【開会式】

1. 日時 令和8年8月22日(土) 9:30～10:00
2. 場所 日南市大堂津特設セーリング会場 式典テント
3. 式次第

選	手	着	席
開	式	通	告
開	会	宣	言
国	旗	儀	礼
優	勝	杯	返
大	会	会	長
あ	い	さ	つ
歡	迎	の	こ
と	ば		
選	手	宣	誓
閉	式	通	告
役	員	・	選
手	団	退	場
(引続き：競技運営説明会)			

【閉会式】

1. 日時 令和8年8月24日(月) 14:00～15:00
2. 場所 日南市大堂津特設セーリング会場 式典テント
3. 式次第

選	手	着	席
開	式	通	告
成	績	発	表
表			彰
講			評
大	会	会	長
あ	い	さ	つ
歡	送	の	こ
と	ば		
国	旗	儀	礼
閉	会	宣	言
閉	式	通	告
役	員	・	選
手	団	退	場

日本のひなた宮崎国スポセーリング競技リハーサル大会
大会役員

(順不同、敬称略) ※＝兼務

【 名 誉 会 長 】 高 橋 透

【 大 会 会 長 】 馬 場 益 弘

【 大 会 副 会 長 】 平 井 昭 光 秋 田 正 紀 船 澤 泰 隆
土 肥 美 智 子 黒 岩 保 雄 外 尾 竜 一
※中 川 千 鶴 子 房 安 生 二 横 山 史 朗

【 顧 問 】 植 松 眞 ※中 川 千 鶴 子 桑 原 啓 三
中 澤 信 夫 中 村 隆 夫 富 田 三 和 子
北 川 浩 一 郎 北 林 克 彦

【 参 与 】 大 谷 た か を 小 山 泰 彦 坂 谷 定 生
※森 田 豊 三 川 添 雄 彦 桑 野 安 史
福 田 さ と し 菊 池 浩 太 郎 長 塚 奉 司
庄 司 一 夫 佐 藤 利 秋 齋 藤 和 久
高 橋 哲 司 安 藤 真 理 子 船 田 元
須 藤 昭 男 新 藤 義 孝 大 野 敬 三
石 原 伸 晃 末 木 創 造 堀 内 光 一 郎
小 保 祥 一 横 山 真 八 嶋 浩 久
大 西 治 夫 鈴 木 規 之 加 藤 敏 純
小 栗 一 朗 岸 田 慶 仁 森 正 弘
神 野 佳 樹 岡 田 栄 三 中 西 克 誠
※森 田 豊 三 堀 井 康 弘 中 井 國 雄
安 田 由 毅 大 西 和 彦 竹 内 宣 昭
安 永 裕 司 河 野 亨 中 博 史
石 井 良 直 黒 川 重 男 谷 田 豊 明
岡 部 幸 司 井 上 宏 西 村 隆
西 山 宗 孝 岩 屋 毅 黒 岩 保 雄
そ の だ 修 光 有 銘 兼 一 中 村 光 恵
山 崎 昌 樹 新 藤 義 孝 西 居 基 晴
加 藤 重 雄 石 原 智 央 橋 口 昭 彦

【 大 会 委 員 長 】 安 藤 淳

【 大 会 副 委 員 長 】 古 屋 勇 人 汐 口 貴 広 梶 渡 良 也

【 大 会 委 員 】 根 津 久 一 郎 山 本 俊 貴 萩 原 ゆ き
古 屋 勇 人 尾 形 依 子 地 川 浩 二
鷹 野 淳 子 五 十 川 浩 司 吉 田 愛
丹 羽 巧 高 田 明 石 原 智 央
井 川 史 朗 新 田 肇 上 野 保
紙 谷 雅 子 鈴 木 保 夫 松 宮 哲 夫
廣 池 達 哉 山 元 麻 理 西 岡 秀 樹

日本のひなた宮崎国スポセーリング競技リハーサル大会
競 技 役 員

(順不同、敬称略) ※＝兼務

【競技委員会】

委員長 古 屋 勇 人
副委員長 根 津 久 一 郎

【レース委員会】

プリンシパル・レースオフィサー 京 黒 太 郎
ディピュティPRO 松 本 遥 香
コースレップ 坂 口 陽 平 宮 崎 公 邦
事務局長 汐 口 貴 広
事務局次長 笠 原 賢 一 向 田 麻 希
委員 新 井 幸 男 榮 樂 洋 光 神 尾 朋 子
黒 川 重 男 桑 野 安 史 鈴 木 純 子
高 谷 智 一 竹 下 勝 明 野 島 光 未 希
外 尾 竜 一 森 謙 一

【記録部】

部長 井 上 兼 一
副部長 林 健 太
部員 松 本 雄 一 郎 笠 原 兼 岩 瀬 広 志

【発着水路部A】

部長 廣 池 達 哉
副部長 坂 口 智 耶
部員 会 津 友 稀 小 田 切 拓 登 増 本 哲 也
田 中 裕 美 森 下 勇 示 崎 山 耕 喜
澤 田 直 樹 久 保 拓 郎 川 野 裕 太
澤 村 和 慶 村 上 裕 一 坂 口 翔
田 平 翔 馬 西 郷 進 平 田 中 葉 子
甲 斐 孝 光 松 本 章 中 尾 博 明
黒 木 恵 介 中 西 昭 雄 平 田 彩 羽
奈良岡 里 穂 小 林 珠 希 田 中 朝 陽
森 田 幸 佑 大 山 蒼 太 上 野 力 空
齊 藤 葵 前 鶴 隆 孔 平 田 佑 成
江 藤 路 恵 浦 丸 翔 矢

【発着水路部B】

部長	上 妻 明 弘								
副部長	松 野 圭 吾								
部員	小 島 遼 平	稲 葉 伸 理	市 橋 隆 司						
	原 田 隆	宮 崎 太 一	五 十 川 浩 司						
	江 村 知 紘	昇 裕 二 郎	※ 三 森 淳						
	神 真 也	西 村 大 作	出 之 口 隼 人						
	山 崎 清 香	松 浦 颯 良	田 中 は な						
	中 村 智 幸	米 田 朱 里	上 水 幸 治						
	田 中 秀 憲	鶴 園 啓 太	寺 本 悠 馬						
	富 岡 美 咲	岩 永 壮 平	松 原 起 生						
	脇 山 照 蔵	渡 辺 一 葉	品 川 空 志						

【海上安全部】

部長	肥 田 木 貴 大								
副部長	田 中 秀 洋								
部員	森 岡 翔 馬	島 田 勝 己	伊 藤 恭 雄						
	白 澤 宗 志	山 本 遼	坂 本 瑛 樹						
	佐 伯 英 剛	白 木 原 奏 一 郎	山 口 栞 華						
	大 橋 祐 太 郎	徳 田 空 輝	仙 田 沙 也 加						
	福 吉 優 樹	佐 藤 成	原 田 苺 依						
	高 山 誠 司	田 中 俊 一							

海上自衛隊の皆様

【総務・報道部】

部長	山 元 麻 理								
副部長	中 里 英 一								
部員	長 田 美 香 子	中 村 な な 子	西 宮 敬 宏						
	中 川 淳	市 橋 栄 理	橋 元 郷						
	増 田 純 二	小 林 睦 子	柄 本 武 虎						
	藤 本 良 子	富 山 真 歩	重 永 梓						
	甲 斐 龍 夫	板 井 健 心	森 洋 子						
	宮 下 竜 介	板 井 博 子	野 元 聡 美						
	古 賀 恵 智 子	石 橋 顕 準	井 上 寛 太						
	中 島 一 徳	馬 場							

【運行・通信部】

部長	瀬口隆三
副部長	池田充秀
部員	遠藤久
	宮崎ひろみ

【プロテスト委員会】

委員長	増田開		
副委員長	岡部幸司		
委員	中垣宣文	田中正昭	前園昇
	古川裕之	黒木信治	山村紅葉
	伊藤大貴	高野由美子	富松潔
	中島昌英	真崎邦彦	山口徳広
	古賀誠次	米良格	上村太志

【プロテスト委員会事務局】

事務局長	加藤圭二		
事務局次長	松宮哲夫		
事務局員	田中愛梨	西本奈央	高見優羽
	内田桃花	栃原海	

【テクニカル委員】

委員長	中村和哉		
副委員長	東島和幸		
委員	小久保伸一	岩田俊彦	三森淳
	松尾博文	佐藤誠	吉岡岳史
	田原達也	永田絹子	櫻井真也
	山田州子	黒川健一郎	河野義樹
	石崎五一郎	西岡秀樹	

【計測・競艇部】

部員	巽美則	小林隆	小林正季
----	-----	-----	------

日本のひなた宮崎国スポーセーリング競技リハーサル大会
競 技 役 員

宮崎県立日南振徳高等学校

学校法人 日南学園高等学校

宮崎県立宮崎海洋高等学校

国立大学法人 宮崎大学

日本のひなた宮崎国スポーセーリング競技リハーサル大会
競技会補助員

ボランティアの皆様

レース公示

NOTICE OF RACE

Version 2026-07-29

Change Log

Amendment 01 : 4.4, 4.5, 4.8.1, 4.9, 4.10 change

Amendment 02 : 付属文書 C change

[NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS 60.1 を変更している。

1. 規則

- 1.1. 本大会は、セーリング競技規則(以下「RRS」という)に定義された規則を適用する。また、開催各クラス規則を適用する。
- 1.2. RRS の定義 : 規則(g)に基づく大会を管理するその他の文書には、サポートチーム規程 及び大会装備規程が含まれる。
- 1.3. RRS 付則 T (調停) を適用する。
- 1.4. [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティを適用することができる規則を意味する。
レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティが決定される。これは RRS 付則 A5 を変更している。
- 1.5. 国スポウインドサーフィン級及びテクノ 293 級について、RRS B5 中の RRS 60 の変更及び RRS B8 は適用しない。
- 1.6. スナイプ級のレースマネジメントに関して、SCIRA が発行する「国内及び国際選手権大会運営のための運営規定 2021 RoC」を採用しない。
- 1.7. RRS 87 及びスナイプクラス規則 A6.1 に基づき、スナイプクラス規則の規則 C 節に次の文章を追加する。
「安全対策として、マストトップに浮力体をつけてよい」
- 1.8. [DP] ILCA6 級及び ILCA7 級は、水上にいる間、直径 6mm 以上、長さ 8m 以上の浮くパウラインをパウアイに装備しなければならない。また、安全対策としてマストトップに浮力体を装着することができる。

2. 帆走指示書

帆走指示書は、2026 年 8月14日 (金) までに、日本のひなた宮崎国スポセーリング競技リハーサル大会ホームページ (以下「大会ホームページ」という。) に掲載され、入手できる。

3. コミュニケーション

- 3.1. 公式掲示板はオンラインのみとし、大会ホームページで利用できる。
大会ホームページ URL : <https://miyazaki2027-sailing-nichinan.com/>
- 3.2. [DP] 緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない。
音声やデータ通信を受信してはならない。ただし、レース委員会が用意するトラッキングシステムは含まない。
- 3.3. [DP] [NP]競技者は、大会 LINE オープンチャットで情報を得ることができる。ただし、大会 LINE オープンチャットでの選手・監督・支援者からの投稿は認めない。
登録については付属文書 A を参照のこと。

3.4. 海上では、レース委員会は主催者が準備した無線機で支援者に連絡を行う。チャンネルは帆走指示書に記載される。

4. 参加資格および申し込み

- 4.1. 参加選手は、2026 年度日本セーリング連盟会員登録済みの者。
- 4.2. 参加選手は参加クラス協会会員登録済みの者。
- 4.3. 次の条件を満たしている者。

【全日本実業団ヨット選手権大会】

- 4.3.1. 地方水域の実業団ヨット連盟から推薦を受けた者。
- 4.3.2. 実業に従事し、2008 年 4月 1日以前に生まれた者。
- 4.3.3. 乗員のうち 1 名以上は、バッジテスト中級 4 級以上の者。なお、登録手続き中の者も認める。
- 4.3.4. スナイプ級の乗員及び艇体は、2026 年度 SCIRA 登録済であること。
- 4.3.5. 全日本実業団ヨット選手権大会の参加選手は、470 級ミックス、スナイプ級ミックスにはエントリーできない。
- 4.3.6. オープン参加には、4.3.1 及び 4.3.2 の前文は適用しない。

【全日本セーリングスピリッツ級選手権大会及び全日本セーリング選手権大会】

- 4.3.7. 各都道府県セーリング・ヨット連盟又は主催団体の推薦を受けた者。
- 4.3.8. 成年男子・成年女子、470 級ミックス、スナイプ級ミックスの選手は、2008 年 4月 1日以前に生まれた者。
- 4.3.9. 成年男子・成年女子の選手は、日本セーリング連盟バッジテスト中級 4 級以上、ただし、国スポウインドサーフィン級及びテクノ 293 級の選手は日本セーリング連盟ウインドサーフィン級・バッジテスト 8 級の有資格者。
- 4.3.10. 少年男子・少年女子の選手は、2008 年 4月 2日～2012 年 4月 1日までに生まれた者。
- 4.3.11. 少年男子・少年女子の選手は、日本セーリング連盟バッジテスト初級 5 級以上の有資格者。

4.4. 参加資格のある艇及び支援者艇は、大会ホームページに掲載の参加申込フォームから必要事項を入力し、参加申込みをするものとする。また、必要な手数料を（NoR5.1 を参照）支払うことにより、参加申込を完了する。

4.5. 大会ホームページ： <https://miyazaki2027-sailing-nichinan.com/>

※参加申込フォームはホームページに掲載しています。

※ご質問等： sailing.miyazaki@gmail.com

4.6. エントリーは 2026 年 6月 26日（金）から 7 月 24 日（金）までとする。

4.7. 大会は次の種目が行われる。

大会名		種 目
全日本実業団ヨット選手権大会		470 級・スナイプ級
全日本セーリングスピリッツ級選手権大会		セーリングスピリッツ級
全日本セーリング選手権大会	種 別	クラス
	少年男子	420 級・ILCA6 級
	少年女子	420 級・ILCA6 級
	成年男子	ILCA7 級・国スポウインドサーフィン級
	成年女子	ILCA6 級・国スポウインドサーフィン級
	成年男女	470 級ミックス（男女混合）
	成年男女	スナイプ級ミックス（男女混合）
	成年男子	テクノ 293 級（テクノプラス、セールサイズは 6.8 もしくは 7.8 フィンサイズは 46cm に制限）
	成年女子	テクノ 293 級（テクノプラス、セールサイズは 6.8 もしくは 7.8 フィンサイズは 46cm に制限）

4.8. 参加可能艇数

大会名		種目	艇数	水域割当参加チーム
全日本実業団ヨット選手権大会		470 級	40 艇 オープン含む	8 艇 北海道・東北・関東 4 艇 中部 1 艇 近畿・北陸 3 艇 関西 5 艇 中国・四国 2 艇 九州 23 艇 (合計)
		スナイプ級	60 艇 オープン含む	9 チーム 北海道・東北・関東 9 チーム 中部 1 チーム 近畿・北陸 5 チーム 関西 4 チーム 中国・四国 2 チーム 九州 30 チーム (合計) (2 艇/1 チーム)
		一部水域で割り当てに不足が生じた場合、全日本実業団ヨット連盟により再割当する。オープン参加の調整は実行委員会が行う。		
全日本セーリングスピリッツ級選手権大会		セーリングスピリッツ級	30 艇	申込み艇数が参加艇数を超えた場合、実行委員会が調整することがある。 420 級の参加艇数が 30 艇にならない場合は、オープン参加（男女混合等）を認める。
全日本セーリング選手権大会	少年男子 少年女子	420 級	30 艇 オープン含む	
	成年女子 少年男子 少年女子	ILCA6 級	60 艇	
	成年男子	ILCA7 級	30 艇	
	成年男子 成年女子	国スポウインドサーフィン級	30 艇	
	成年男子 成年女子	470 級ミックス スナイプ級ミックス	20 艇	
		テクノ 293 級	40 艇	

- 4.8.1. 参加者は変更事項が生じた場合、日本のひなた宮崎国スポ・障スポ日南市実行委員会事務局に報告しなければならない。

4.9. チームの艇数及び登録人数

大会名		種目	艇数	監督	1 艇当りの乗員数
全日本実業団ヨット選手権大会		470 級	1	1	選手 5 名以内 470 級登録者はスナイプ級に登録できない。但し、全日本実業団ヨット連盟が認める場合を除く。
		スナイプ級	2	1	選手 9 名以内 スナイプ級登録者は 470 級に登録できない。但し、全日本実業団ヨット連盟が認める場合を除く。
		オープン 470 級	1		2 名
		オープン スナイプ級	1		2 名
全日本セーリングスピリッツ級選手権大会		セーリングスピリッツ級	1		2 名
全日本セーリング選手権大会	少年男子	420 級	1	1	2 名
	少年女子	420 級	1	1	2 名
	オープン	420 級	1	1	2 名
	成年女子	ILCA6 級	1		1 名
	少年男子	ILCA6 級	1	1	1 名
	少年女子	ILCA6 級	1	1	1 名
	成年男子	ILCA7 級	1		1 名
	成年男子	国スポウインドサーフィン級	1		1 名
	成年女子	国スポウインドサーフィン級	1		1 名
	成年男女	470 級ミックス	1		2 名
	成年男女	スナイプ級ミックス	1		2 名
	成年男子	テクノ 293 級	1		1 名
	成年女子	テクノ 293 級	1		1 名

4.10. 参加者が 2008 年 4 月 2 日以降に生まれた者の場合は、監督が付き添うこと。そのため、少年男子・少年女子の種目だけではなく、参加者に 2008 年 4 月 2 日以降に生まれた者がいる場合は、監督の登録を行うこと。なお、監督は複数の艇の監督を兼ねることができる。

5. 参加料

5.1. 参加料は次の通りとする。

5.1.1 参加料の支払いは銀行振込で受け付ける。

5.1.2 参加料には消費税を含む。銀行振込手数料は選手負担とする。

大会名		種目	参加料
全日本実業団ヨット選手権大会		470 級	20,000 円/艇
		スナイプ級	40,000 円/チーム
		オープン	10,000 円/艇
全日本セーリングスピリッツ級選手権大会		セーリングスピリッツ級	10,000 円/艇
全日本セーリング選手権大会	少年男子 少年女子 オープン	420 級	10,000 円/艇
	少年男子 少年女子	ILCA6 級	5,000 円/艇
	成年男子	ILCA7 級・ 国スポウインドサーフィン級	5,000 円/艇
	成年女子	ILCA6 級・ 国スポウインドサーフィン級	5,000 円/艇
	成年男子 成年女子	470 級ミックス スナイプ級ミックス	10,000 円/艇
		テクノ 293 級	5,000 円/艇

5.1.3. 参加料の返金を行わない。

5.1.4. 【参加料振込先】

2026 年 7 月 24 日(金)までに、下記銀行口座に振り込むこと。

【全日本実業団ヨット選手権大会（470 級、スナイプ級のオープン参加は除く）】

銀行名 三菱UFJ 銀行 新丸の内支店（店番号：422）

口座番号 普通預金 48224138

口座名義 全日本実業団ヨット選手権大会事務局 理事長 桑野安史（クワノヤスシ）

【全日本セーリングスピリッツ級選手権大会・全日本セーリング選手権大会】

470 級オープン参加・スナイプ級のオープン参加・470 級ミックス・スナイプ級ミックス・SS 級・420 級・ILCA6 級・ILCA7 級・国スポウインドサーフィン級・テクノ 293 級

銀行名 九州労働金庫 日南支店（店番：913）

口座番号 普通預金 3980681

口座名義 国スポ・障スポ日南市実行委員会事務局長 横山 史朗

（ コクスポショウスポニチナンシジッコウイインカイ ジムキョクチョウ ヨコヤマシロウ ）

6. [NP] [DP] 広告と識別番号シール

6.1. 艇は主催者により選択され提供された広告を表示するよう、要求されることがある。

6.2. 各種目のセールに、主催者が用意する識別番号シール（エントリー番号を表すシール・各艇 1 組）の貼付を指示する場合がある。その場合は、大会装備規程により別途指示する。

7. レガッタフォーマット

470 級と 470 級ミックス、スナイプ級とスナイプ級ミックス、国スポウインドサーフィン級成年男女とテクノ 293 級成年男女、420 級少年男女、ILCA6 級成年女子と ILCA6 級少年男女は、それぞれの種目において、全種別が同時スタートを実施する。

8. 日程

8.1. レース日程

月 日	時 間	内 容
8 月 20 日 (木)	9 : 30～17 : 00	搬入受付
8 月 21 日 (金)	9 : 30～16 : 00	受付 ・ 計測
8 月 22 日 (土)	8 : 00～ 9 : 30 8 : 00～11 : 00 9 : 30～10 : 00 10 : 00～10 : 40 12 : 15	受 付 計 測 開会式 競技運営説明会 最初のクラスの予告信号時刻
8 月 23 日 (日)	9 : 30	最初のクラスの予告信号時刻
8 月 24 日 (月)	9 : 30 14 : 00～15 : 00	最初のクラスの予告信号時刻 閉会式 (表彰式)

付属文書 B にレース日程及びレース数詳細を示す。

8.2. 各海面の引き続き行うレースは、その前のレースの各種目終了後、引き続き行う。

8.3. 1 日最大 4 レースまでは行われる。ただし、スナイプ級については 1 日最大 3 レースとする。

8.4. 最終日の予告信号は 11:00 より後には発しない。

9. [DP] [NP]大会装備検査

9.1. 艇または装備は、RRS78 に準じ、規則に従っていることを確認するために、いつでも検査されることがある。

9.2. 国スパウインドサーフィン級は、1 つのボードに 2 枚のセールの使用が許可され、マストの本数は制限しない。

9.3. 装備検査の詳細は、大会装備規程により別途指示する。

10. 開催地

宮崎県日南市 日南市大堂津特設セーリング会場 (付属文書 C には、レース・エリアの場所を示す。)

11. コース

帆走するコースはトラペゾイド・コースまたはウィンドワード/リーワード・コースとする。

12. ペナルティー方式

12.1. RRS 付則 P を適用する。

12.2. RRS 70.3 及び日本セーリング連盟規程 5.4 に規定されたとおり、プロテスト委員会の判決を最終とする。

13. 得点

13.1. 本大会は 1 レース成立する必要がある。

13.2. 4 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。

13.3. 4 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

13.4. 同時にスタートした種目については、そのレース毎の順位で得点を計算し、個別種別毎での得点計算は行わない。

13.5. 470 級、スナイプ級、470 級ミックス、スナイプ級ミックス、420 級及び ILCA6 級の得点は、オープン参加の艇を含め各レース一連の順位を決定し得点を与える。

13.6. スナイプ級のチームのシリーズ得点は、チームを構成する 2 艇のシリーズ得点の合計とし、合計得点が少ないチームを上位とする。1 艇チームの場合は、1 艇のシリーズ得点に 1 艇の DNC (参加艇数+1 点) のシリーズ得点を加算したものを、そのチームの得点とする。

13.7. スナイプ級のチーム得点が同点の場合、構成する 2 艇のうち上位の 1 艇のシリーズ順位を比較し、上位のチームを上位とする。

14. 支援者及び支援者艇

支援者艇は、サポートチーム規程に従わなければならない。

15. 停泊

支援者艇は、主催者から指定された場所に停泊しなければならない。

16. リスク・ステートメント

RRS3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

17. [DP] [NP] 肖像権、カメラ及び電子機器

17.1. 選手は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手または本大会における選手の装備に関する動画、スチール写真および撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

17.2. 艇は、主催者により指定されたカメラ、音響機器および測位機器を搭載するよう要求されることがある。

18. 賞

大会名		種目	賞	
全日本実業団ヨット選手権大会		470 級	優勝チーム ・山縣記念杯 ・実業団会長杯（持ち回り）	1 位-3 位 : 盾 1 位-6 位 : 賞状
		スナイプ級	優勝チーム ・実業団会長杯（持ち回り） 同一企業のメンバーで構成されたチームのうち最優秀チーム ・高松宮妃記念杯（持ち回り）	1 位-3 位 : 盾 1 位-6 位 : 賞状
全日本セーリングスピリッツ級選手権大会		セーリングスピリッツ級	SS 協会 優勝杯（持ち回り）	1 位-3 位 : 盾・賞状
全日本セーリング選手権大会	少年男子 少年女子	420 級	1 位-3 位 : 盾・賞状 但し、オープン参加は表彰の対象としない	
	成年女子 少年男子 少年女子	ILCA6 級	1 位-3 位 : 盾・賞状	
	成年男子	ILCA7 級	1 位-3 位 : 盾・賞状	
	成年男子 成年女子	国スポウインドサーフィン級	1 位-3 位 : 盾・賞状	
	成年男子 成年女子	470 級ミックス スナイプ級ミックス	1 位-3 位 : 盾・賞状	
		テクノ 293 級	1 位-3 位 : 盾・賞状	

全日本実業団ヨット選手権大会

470 級優勝チームのスキッパー1 名に対し、2027 年度全日本 470 級ヨット選手権大会への出場権が日本 470 協会から与えられる。

スナイプ級優勝チームのスキッパー2 名に対し、2027 年度全日本スナイプ級ヨット選手権大会への出場権が日本スナイプ協会から与えられる。但し、全てのレースに出場したスキッパーに限る。

問い合わせ先

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ日南市実行委員会事務局
(日南市教育委員会 生涯学習課 国スポ・障スポ推進室)

〒887-8585 宮崎県日南市中央通 1-1-1

TEL : 0987-27-3333 (担当 : 富永)

FAX : 0987-24-0987

電子メールアドレス : k-sport@city.nichinan.lg.jp

宮崎県セーリング連盟

〒880-0856 宮崎県宮崎市日ノ出町 1 番地 宮崎県立宮崎海洋高等学校内

TEL:0985-22-4115(汐口貴広)

電子メールアドレス : shioguchi-takahiro@miyazaki-c.ed.jp

付属文書A

大会 LINE オープンチャットへの登録

大会 LINE オープンチャットにご参加ください。

※ 1 艇最低 1 名



オープンチャット「日本のひなた宮崎国スポセーリング競技リハーサル大会」

URL:https://line.me/ti/g2/Pes0mGKp_QudxB7d_qfyRsgly3MV0G8tTFK5Xw?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

参加コード 「miyazaki」

- ※ 大会 LINE オープンチャットには、大会 1 週間前にはご参加ください。
- ※ LINE は主催者やレースオフィシャルズからの情報発信に使用予定です。
- ※ LINE オープンチャットで使用するプロフィール名は下記の通りとする。
選手：クラス+セイルナンバー+氏名 （例：ILCA6_〇〇〇〇〇_宮崎太郎）
サポーター：所属名+氏名 （例：所属名_宮崎花子）
- ※ LINE での質問・問い合わせにはご遠慮ください。

レース日程及びレース数

種目	8月22日(土)		8月23日(日)		8月24日(月)	
	レース・エリア 予告信号時刻	レース No	レース・エリア 予告信号時刻	レース No	レース・エリア 予告信号時刻	レース No
470 級 470 級ミックス	A 12:15	R1 R2	A 12:00	R3 R4 R5	A 09:30	R6
スナイプ級 スナイプ級ミックス	A 12:22	R1 R2	A 12:07	R3 R4 R5	A 09:37	R6
ILCA7 級	A 14:00	R1 R2	A 09:30	R3 R4 R5	A 10:20	R6
420 級	A 14:07	R1 R2	A 09:37	R3 R4 R5	A 10:27	R6
セーリングスピリッツ級	B 12:15	R1 R2	B 09:30	R3 R4 R5	B 09:30	R6
ILCA6 級	B 12:22	R1 R2	B 09:37	R3 R4 R5	B 09:37	R6
国スポウインドサーフィン級 テクノ 293 級	B 14:00	R1 R2	B 12:20	R3 R4 R5	B 10:20	R6

レース・エリア



帆走指示書 (SAILING INSTRUCTIONS)

Organizing Authority (OA):

(公財)日本セーリング連盟、全日本実業団ヨット連盟、セーリングスピリッツ協会、
日南市 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ日南市実行委員会 日南市教育委員会 宮崎県セーリング連盟

[NP]は、この規則の違反を申し立てる艇による抗議は無効であることを意味する。これは RRS 60.1 を変更している。

[SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。これは RRS A5 を変更している。

1. 規則

- 1.1. 本大会はセーリング競技規則（以下『RRS』という）に定義された規則を適用する。
- 1.2. RRS 70.3(c)及び日本セーリング連盟規程 5.4 に規定されたとおり、プロテスト委員会の判決を最終とする。
- 1.3. 国スポウインドサーフィン級及びテクノ 293 級について、RRS B5 中の RRS 60 の変更及び RRS B8 は適用しない。
- 1.4. スナイプ級のレースマネジメントに関して、SCIRA が発行する「国内及び国際選手権大会運営のための運営規定 2021 RoC」を採用しない。
- 1.5. [DP] ILCA6 級及び ILCA7 級は、水上にいる間は、直径 6 mm、長さ 8 m 以上の水に浮くタイプのバウ・ラインをバウ・アイにつけておかなければならない。また、完沈を防ぐ目的で、マストトップに浮力体をつけてよい。

2. 帆走指示書の変更

- 2.1. 帆走指示書（以下「SI」という。）の変更(レース・エリアの変更を含む)は、それが発効する当日の当該種別・種目の最初の予告信号の 60 分以前までに、公式掲示板に掲示される。
- 2.2. レース日程の変更は、それが発効する前日の 19:00 までに公式掲示板に掲示される。

3. [DP] [NP] 識別・カメラや電子機器

- 3.1. 艇は OA により選択され支給された電子機器を艇の指定された位置に搭載するよう要求されることがある。艇はこの要求に従わなければならない。
- 3.2. [SP] 競技者は、レース委員会により準備されたトラッキングシステムの端末機器を指定された位置に搭載しなければならない。
- 3.3. [SP] 端末機器は、レース委員会の指示通り返却しなければならない。なお、トラッキングシステム端末機器受け渡し方法については、別途案内するものとする。

4. コミュニケーション

- 4.1. 競技者への通告は、[公式掲示板](https://www.racingrulesofsailing.org)（大会 RacingRulesOfSailing.org 以下「大会 RRS.org」という。）に掲示される。[公式掲示板](https://www.racingrulesofsailing.org)はオンラインのみとし、大会 web サイトで利用できる。サイト等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これは RRS 61 を変更している。

大会公式掲示板 URL: <https://www.racingrulesofsailing.org/documents/15573/event>

大会 web サイト URL: <https://miyazaki2027-sailing-nichinan.com/>

- 4.2. [DP]緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。ただし、レース委員会が用意するトラッキングシステムは含まない。
- 4.3. 水上ではレース委員会は OA が用意した無線機で支援者に連絡を行う。詳細はサポートチーム規程（STR）に示す。
- 4.4. [DP][NP]競技者は、大会 LINE オープンチャットで情報を得ることが出来る。ただし、大会 LINE オープンチャットでの選手・監督・支援者からの投稿は認めない。詳細は NOR 付則文書 A を参照のこと。

5. [DP] 行動規範

- 5.1. 競技者は、OA、委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 5.2. 競技者および支援者は、OA によって提供された、装備の取扱いを、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

6. 陸上で発せられる信号

- 6.1. 陸上で発する信号は、本部ユニットハウス 2 階北側に設置された掲揚ポールに掲揚する。
- 6.2. [DP][NP] 音響 1 声とともに掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗掲揚後次に示す分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、水上に浮かべてはならない。「D 旗」が「クラス旗」の上に掲揚された場合、その種目のみに適用する。

レース・エリア	予告信号は、次に示す分以降
A	35
B	25

- 6.3. 陸上に回答旗が掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1 分」を「次に示す分以降」と置き換える。

レース・エリア	予告信号は、次に示す分以降
A	35
B	25

7. スケジュール

7.1. レース日程

月 日	時 間	内 容
8月20日（木）	9：30～17：00	搬入受付
8月21日（金）	9：30～16：00	受 付 ・ 計 測
8月22日（土）	8：00～ 9：30	受 付
	8：00～11：00	計 測
	9：30～10：00	開会式
	10：00～10：40	競技運営説明会
	12：15	最初のクラスの予告信号時刻
8月23日（日）	9：30	最初のクラスの予告信号時刻
8月24日（月）	9：30	最初のクラスの予告信号時刻
	14：00～15：00	閉会式（表彰式）

また、SI Addendum B にレース日程及びレース数詳細を示す。

- 7.2. 各レース・エリアの引続き行うレースは、その前のレースの各種別・種目終了後、引続き行う。
- 7.3. 天候等の事情により、レース日程及びレース・エリアは、レース委員会において変更することがあり、その変更は SI 2 に従って行われる。

- 7.4. 1つのレースまたは一連のレースがまもなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 7.5. 当該種別・種目の 1 日に実施する最大レース数は 4 レースとする。
- 7.6. 8 月 24 日(月)には、11 時 00 分より後に予告信号を発しない。

8. クラス旗

- 8.1. 各種別・種目のクラス旗は、以下のとおりとする。

クラス旗	旗色
470 級	白地に青記章
スナイプ級	白地に赤記章
ILCA 7 級	白地に赤記章
420 級	白地に青記章
セーリングスピリッツ級	白地に黒記章
ILCA 6 級	ピンク地に赤記章
国スポウインドサーフィン級 テクノ 293 級	白地に青記章

9. レース・エリア

- 9.1. SI Addendum C にレース・エリアの位置を示す。
- 9.2. レース・エリアが SI Addendum C のとおりとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。この項は、RRS 61 を変更している。

10. コース

- 10.1. SI Addendum E の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 10.2. 予告信号以前にシグナルボートに、帆走すべきコース及び最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 10.3. コースの短縮は行わない。これは RRS 32 を変更している。

11. マーク

- 11.1. マークは、次のとおりとする。

レース・エリア	マーク 1, 2	3s,3p, 4s,4p	新しいマーク	スタート・マーク フィニッシュ・マーク
A 海面	ピンク色円筒形	オレンジ色のロボットマーク または ピンク色円筒形	青色円錐形	レース委員会船
B 海面	黄色円筒形	オレンジ色のロボットマーク または 黄色円筒形	緑色円錐形	レース委員会船

12. スタート

- 12.1. スタート・ラインは、スタート・マーク上の「オレンジ旗」を掲げたポールのコース側との間とする。
- 12.2. [DP][NP] 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。スタート・エリアはスタート・ラインから 50m 以内のエリアとし、その図を SI Addendum D に示す。
- 12.3. スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は RRS A5、A10 を変更している。

13. コースの次のレグの変更

13.1. コースの次のレグを変更する場合、レース委員会は、次の対応を行う。

- (a) SI 11 に規定する新しいマークを設置する
- (b) フィニッシュ・ラインを動かす
- (c) 風下ゲートを動かす

13.2. 実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

14. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、レース委員会船の青色旗を掲揚しているポールのコース側との間とする。

15. ペナルティー方式

15.1. 付則 P を適用する。

15.2. 付則 T を適用する。『レース後ペナルティー』を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは、RRS A10 を変更している。

16. タイム・リミットとターゲット・タイム

16.1. マーク 1 のタイム・リミット、レース・タイム・リミット（RRS 35 参照）およびフィニッシュ・ウインドウを下表に示す。

種目	レース・タイム・リミット	マーク 1 のタイム・リミット	フィニッシュ・ウインドウ	ターゲット・タイム
470 級	60 分	25 分	12 分	40 分
スナイプ級	60 分	25 分	12 分	40 分
ILCA 7 級	60 分	25 分	12 分	40 分
420 級	60 分	25 分	12 分	40 分
セーリングスピリッツ級	60 分	25 分	12 分	30 分
ILCA 6 級	60 分	25 分	12 分	40 分
国スポウインドサーフィン級	30 分	15 分	10 分	20 分
テクノ 293 級	30 分	15 分	10 分	20 分

16.2. マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースは中止する。

16.3. フィニッシュ・ウインドウとは、最初の艇がコースを帆走した後、艇がフィニッシュする時間のことである。スタートしたが、フィニッシュ・ウインドウ内にコースの帆走ができず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティーを課されず、また救済を与えられなかった艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった」(DNF) と記録される。これは、RRS 35、A 5.1、A 5.2、A 10 を変更している。

16.4. ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 61 を変更している。

17. 審問の要求

17.1. 抗議及び救済または審問再開の要求は、大会 RRS.org のオンラインフォーム "[Hearing Request \(審問要求書フォーム\)](#)" により、適切な制限時間内にプロテスト委員会事務局に提出しなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、プロテスト委員会事務局で入手できる用紙に記入し、同事務局に持参して提出することができる。

17.2. それぞれの種別・種目に対して、抗議締切時刻はその日の当該種別・種目の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から下記に示す時間

とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。公式掲示板の「[抗議締切時刻通告](#)」より確認することができる。

レース・エリア	時間
A	80 分
B	60 分

- 17.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告を[公式掲示板](#)に掲示する。審問は運営棟 1 階のプロテスト審問室にて公式掲示板に掲示した時刻に始められる。
- 17.4. 委員会による抗議の意思を、RRS 60.2(d)に基づき艇に伝えるために[公式掲示板](#)に掲示する。
- 17.5. RRS 42 違反に対するペナルティを課せられた艇のリストを掲示する。
- 17.6. RRS 63.5(d) に関する事項の「責任ある機関」は本大会のテクニカル委員会である。
- 17.7. 審問再開は、判決を通告された日の翌日の 9 時 00 分までの間に限り求めることができる。ただし、8 月 24 日(月)に判決を通告された場合には、判決を通告されてから 15 分以内とする。これは、RRS 63.7 を変更している。
- 17.8. 8 月 24 日(月)では、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は判決の掲示から 15 分以内でなければならない。これは RRS 61.2 を変更している。
- 17.9. RRS40.1、RRS50.1(b)、クラス規則および大会装備規程の違反に対するペナルティは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。
- 17.10. [SP]印の規則の違反と関連するペナルティのガイドラインは、公式掲示板に掲示され、得点記録の略語は STP とする。これは規則 A10 を変更している。
- 17.11. SI18.2.の規定に基づく得点照会に対する回答を受けた後に提出された救済要求は、次の場合、締切時刻を満たしているものとする。
- 17.11.1. 得点照会が、得点またはシリーズ成績の情報が入手可能となった後、常識的にできるだけ早く提出され、かつ
- 17.11.2. 救済要求が、得点照会に対する回答が通知されたあと常識的にできるだけ早くに提出された場合。回答はオンライン・システムによって通知される。この項は RRS 61.2 を変更している。

18. 得点

- 18.1. 本大会は各種別・種目とも 6 レースが予定され、それぞれ 1 レースの完了をもって成立する。
- 18.2. 艇は、公式掲示板に掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、大会 RRS.org のオンラインフォーム「[Scoring Inquiry \(得点照会のフォーム\)](#)」をレース委員会事務局に提出することで、得点及び成績の訂正を要請する事ができる。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、レース委員会事務局に持参して提出することができる。
- 18.3. カットレース
- 18.3.1. 3 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 18.3.2. 3 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 18.4. 同時にスタートした種目については、そのレース毎の順位で得点を計算し、個別種別毎での得点計算は行わない。
- 18.5. 470 級、スナイプ級、470 級ミックス、スナイプ級ミックス、420 級及び ILCA6 級の得点は、オープン参加の艇を含め各レース一連の順位を決定し得点を与える。
- 18.6. スナイプ級のチームのシリーズ得点は、チームを構成する 2 艇のシリーズ得点の合計とし、合計得点が少ないチームを上位とする。1 艇チームの場合は、1 艇のシリーズ得点に 1 艇の DNC(参加艇数+1 点)のシリーズ得点を加算したものを、そのチームの得点とする。
- 18.7. スナイプ級のチーム得点が同点の場合、構成する 2 艇のうち上位の 1 艇のシリーズ順位を比較し、上位のチームを上位とする。

19. [NP]安全規定

19.1. チェックアウトチェックイン

19.1.1. [SP]レースに参加しようとする艇は、出艇申告書に艇長が署名しなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇は、その日の予告信号予定時刻の 30 分前までにリタイア DNC 申告書に艇長若しくは監督(代理)が署名しなければならない。

19.1.2. [SP]帰着した艇は、帰着後速やかに、また、その日の当該種別・種目の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から下記に示す時間以内に帰着申告書に艇長が署名しなければならない。ただし、レース委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。

レース・エリア	時間
A	80 分
B	60 分

19.1.3. 水上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前に SI 22.の運営船にその旨を伝えること。また、帰着後速やかに SI 19.1.1.のリタイア DNC 申告書に艇長若しくは監督(代理)が署名しなければならない。また、帰着した競技者は、抗議締切り時間内に「帰着申告書」に署名しなければならない。

19.1.4. [SP]一度ハーバーに帰着した艇（SI 19.1.3.）及び、SI 19.1.1.のリタイア DNC 報告の手続きを行った艇が再度レースに参加しようとする（出艇する）場合、競技者はリタイア DNC 申告書に出艇の申告署名をしなければならない。

19.2. [DP] レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。

19.3. 救助を必要とする艇の乗員は、頭上で手を大きく振って救助要請を行うこと。

19.4. 委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告及び強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。これは RRS 61 を変更している。

19.5. レース委員会が V 旗を掲揚した場合、支援者艇に対する救助要請を示しており、支援者艇はレース委員会の指示に従わなければならない。この項は RRS 37 及びレース信号を変更している。（サポートチーム規程（STR）5.1 参照）

20. [DP]装備の交換

20.1. 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に大会 RRS.org のオンラインフォーム“[Equipment Substitution Form（装備交換フォーム）](#)”にてテクニカル委員会に行われなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、テクニカル委員会事務局で入手できる用紙に記入し、同事務局に持参して提出することができる。また、交換申請の詳細は大会装備規程に示す。

21. [DP] 装備と計測のチェック

21.1. 艇はレース前の装備検査合格後、最終レース終了までの間常にクラス規則及び大会装備規程に従っていないといけない。ただし、日常のメンテナンス、テクニカル委員会による許可を受けた修理交換作業中はこの限りではない。

21.2. 水上で艇はフィニッシュ後、テクニカル委員会より、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。陸上では、艇または装備がクラス規則、大会装備規程、NoR および SI に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

22. 運営船

運営船の標識は次の通りである。

運営船	識別旗
-----	-----

競技委員会船	白地に赤字「VIP」
レース委員会船	白地に赤字「RC」
プロテスト委員会船	赤地に白字「PROTEST」
PRO船	白地に赤字「RC」
テクニカル委員会船	白地に黒字「TC」
救助船	緑地に白字「RESCUE」
報道船	白地に緑字「MEDIA」
警戒船	白地に赤字「警戒艇」
連絡艇	蛍光黄色地に黒字「連絡艇」

23. 支援者艇

支援者艇は、サポートチーム規程（STR）に従わなければならない。

24. ゴミの処分

ゴミは支援者艇または運営船に渡してもよい。

25. リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

26. 肖像権

競技者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または装備に関する動画、スチール写真及び撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、OA に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

27. 故意または過失によって生じた損害の補償

OA は、競技者または支援者に対して、その故意または過失によって生じたすべての損害の補償を命じることができる。その損害の補償に関しては、競技委員会の査定に従うものとする。

SI Addendum A リンク先

◇大会ホームページのリンク URL

<https://miyazaki2027-sailing-nichinan.com/>



◇大会公式掲示板 URL

<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/15573/event>

大会 RRS.org QR コード

[公式掲示板](#)



[得点照会フォーム](#)



[審問要求書フォーム](#)



[装備交換フォーム](#)



[審問予定](#)



[審問の判決](#)

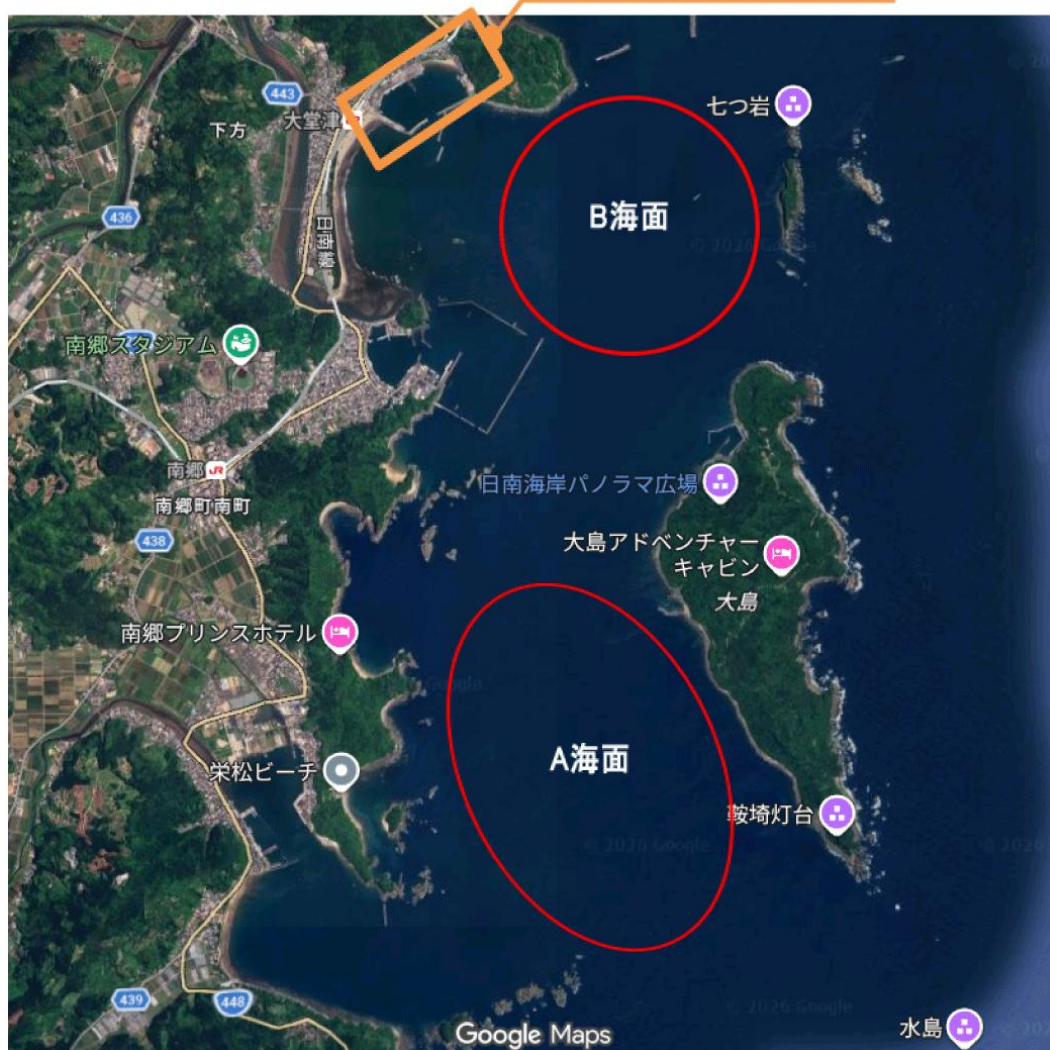


SI Addendum B レース日程及びレース数

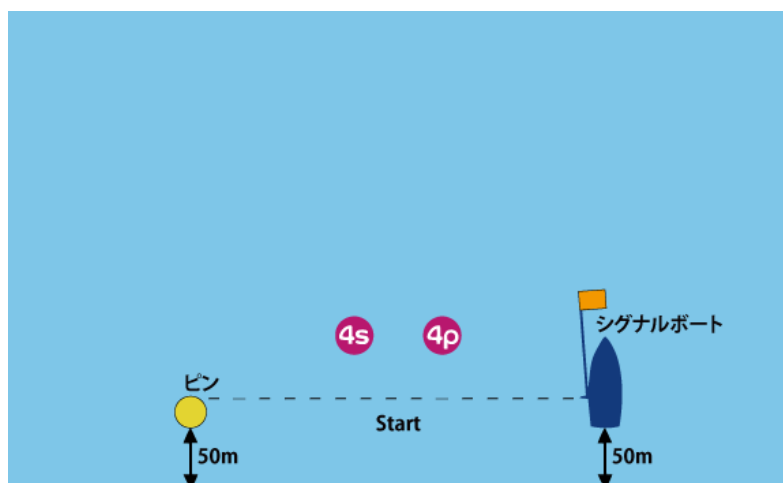
種目	8月22日(土)		8月23日(日)		8月24日(月)	
	レース・エリア 予告信号時刻	レース No	レース・エリア 予告信号時刻	レース No	レース・エリア 予告信号時刻	レース No
470 級 470 級ミックス	A 12:15	R1 R2	A 12:00	R3 R4 R5	A 09:30	R6
スナイプ級 スナイプ級ミックス	A 12:22	R1 R2	A 12:07	R3 R4 R5	A 09:37	R6
ILCA7 級	A 14:00	R1 R2	A 09:30	R3 R4 R5	A 10:20	R6
420 級	A 14:07	R1 R2	A 09:37	R3 R4 R5	A 10:27	R6
セーリングスピリッツ級	B 12:15	R1 R2	B 09:30	R3 R4 R5	B 09:30	R6
ILCA6 級	B 12:22	R1 R2	B 09:37	R3 R4 R5	B 09:37	R6
国スポウインドサーフィン級 テクノ 293 級	B 14:00	R1 R2	B 12:20	R3 R4 R5	B 10:20	R6

SI Addendum C レース・エリア

大堂津特設セーリング会場

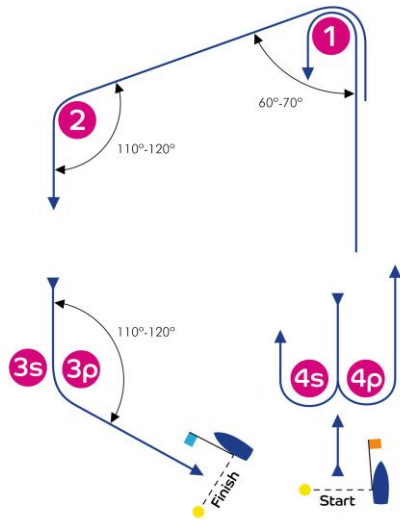


SI Addendum D スタート・エリア



SI Addendum E コース図

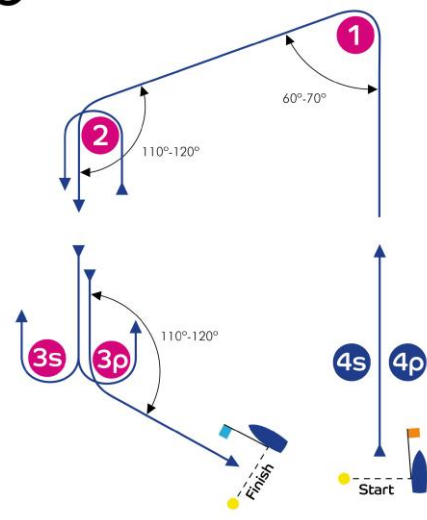
I



Course: Inner Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
I2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish

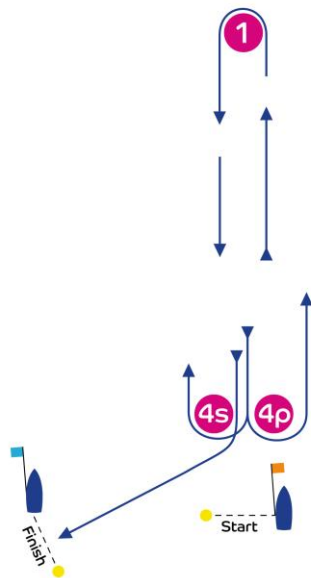
O



Course: Outer Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
O2	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O3	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O4	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish

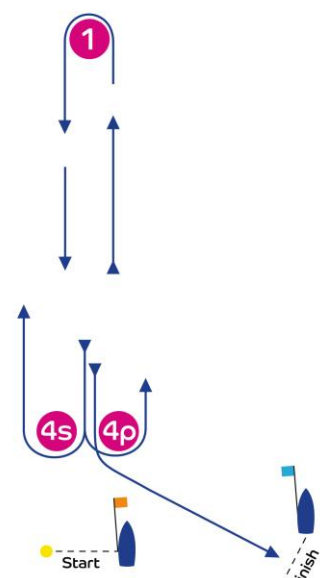
LG



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LG2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish

LR



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LR2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish

大会出場者名簿

〈全日本実業団ヨット選手権大会〉

- ・470 級（オープン参加有り）
- ・スナイプ級（オープン参加有り）

〈全日本セーリングスピリッツ級選手権大会〉

- ・セーリングスピリッツ級

〈全日本セーリング選手権大会〉

- ・420 級（少年男子、少年女子、オープン参加有り）
- ・ILCA7 級（成年男子）
- ・ILCA6 級（成年女子、少年男子、少年女子）
- ・国スポウィンドサーフィン級（成年男子、成年女子）
- ・テクノ 293 級（成年男子、成年女子）



高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会

スナイプ級

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
1 2	31603 31955	(株)エス・ピー・ネットワーク	渡部 洋介	渡邊 哲雄 野呂 英輔 古谷 信玄 山下 明德 谷川 亮介 市川 玲 渡部 洋介	
3 4	31723 31715	福岡造船(株)	村上 義龍	古賀 理 村上 義龍 河津 優理 五嶋 杏莉 村尾 一樹	
5 6	31997 31301	グッドホールディングスセーリングチーム	津田 政房	森谷 幸雄 河野 元道 桑原 洋樹 井堰 威瑠 山本 宝 田辺 領	
7 8	31917 31916	(株)アイシン	大澤 昭彦	笹井 正和 伊藤 和央 杉浦 涼斗 中島 貢 石川 真吾 須藤 千春	
9 10	31629 30466	株式会社島津製作所	山崎 寛	山崎 寛 村田 ミツヒロ 横山 滉介 森川 健司 西 隆宏 宮田 航希	
11 12	31872 31415	湘南サニーサイドマリーナヨットクラブA	羽柴 宏昭	羽柴 宏昭 井嶋 清芳 熊倉 優 小島 正敬 山田 剛士	
13 14	31871 31996	湘南サニーサイドマリーナヨットクラブB	羽柴 宏昭	三船 和馬 古賀 智彦 入江 裕太 松田 のどか 芳田 翔平	

高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会

スナイプ級

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
15 16	29022 29031	三菱重工業(株)長崎造船所ヨット部	谷口 雅彦	谷口 雅彦 永野 英文 坂本 俊太 井野畑 和企 丸田 聡史 奥 剛	
17 18	31315 30478	東京海上日動火災保険株式会社	堤 伸宏	菅澤 龍佑 熊野 卓郎 飯田 滯 河崎 元紀 畠山 翔 新井 健伸 目黒 剛志	
19 20	31712 31429	近藤金属工業株式会社	近藤 亘	近藤 亘 西山 彰 鈴木 英心 引地 勘太	
21 22	31033 30868	ANAヨット部	椎野ひろみ	椎野 ひろみ 堀江 嶺太郎 渡邊 亮 則竹 勉 小林 礁太 渡辺 雅人 角田 聞伍	
23 24	31863 31862	日本郵船	瀬川 教文	瀬川 教文 岡本 拓海 山中 祥太 益田 耕司 千田 綾菜	
25 26	31523 30012	医療法人 上山クリニック	上山 教夫	平川 元通 伊地知 俊昭 家入 崇 村永 守 田平 悠樹	
27 28	31238 31971	紅のデブ	名達 博之	名達 博之 毛利 智史 山田 隆史 萬好 晃平 名達 梓	

高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会

スナイプ級

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
29 30	31896 31867	川崎重工ヨット部	額額 雅彦	竹中 修平 青田 雄弘 田中 拓磨 堀井 純太 黒田研一郎 合原 輔佑太	
31 32	30203 31177	日立製作所本社ヨット部	土井 良平	土井 良平 板垣 慶一郎 松本 洋一 小島 もも 廣瀬 仁徳 岩田 竜一 森 樹 有吉 大輔 中澤 大三郎	
33 34	31756 31647	(株)豊田自動織機	石川 雅浩	松崎 茂 佐藤 一真 崎 一路 角田 一瑳	

高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会

スナイプ級 オープン参加

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
35	29003	東谷山セーリングチーム	橋元 隆	橋元 隆 木田 拳太郎	
36	30917	鹿屋体育大学ヨット部	榮樂 洋光	中川 望夢 財間 海大	
37	30348	鹿屋体育大学ヨット部	榮樂 洋光	池永 誇太郎 石川 さくら	

高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会

470級

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
4863	平成医会	島田 潔	本多 佑基 狩野 弁慶	
4152	マツダ親和会ヨット部	長野 直樹	長野 直樹 中島 和弘	
4719	(株)豊田自動織機 teamA	田中 年彦	江田 行志 田中 年彦	
4686	(株)豊田自動織機 teamB	石川 雅浩	児玉 洋輝 平田 佳佑	

高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会

470級 オープン参加

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
4127	NPOSAGA SAILING	中山 英弘	坂本 帆嵩 佐藤 友星	
4742	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	元津 大地 田中 健太郎	
4802	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	森 大輔 今津 雄登	
4870	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	宮本 健吾 外薗 潤平	

第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会

セーリングスピリッツ級

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
255	NPOSAGA SAILING	中山 英弘	中山 由菜 宮崎 歩美	
96	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	小泉 志緒 元津 友唯	
252	鳥取県セーリング連盟	阿部 幸久	森山 伊織 山口 栞奈	
256	長野県セーリング連盟	本山誠	白澤 よしの 矢口 文香	
258	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	深江 夏鈴 鈴木 身祐希	

2026年全日本セーリング選手権大会

420級 少年男子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
57474	NPOSAGA SAILING	中山英弘	大坪 築 米倉 烈	
56246	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	西郷 永進 肝付 悠	
55240	鳥取県セーリング連盟	阿部 幸久	山本 汐穂 安田 悠汰	
55074	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	松本 頼都 松元 虎太郎	
56961	福岡第一高校/福岡セーリングクラブ	今村 公彦	宮前 咲也 宮田 伊織	
56463	福岡第一高校/福岡セーリングクラブ	今村 公彦	永見 宗士 倉元 優羽	
55073	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	井上 勇翔 板井 英心	
56092	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	藤原 碧海 吉永 晴空	

2026年全日本セーリング選手権大会

420級 少年女子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
56085	鳥取県セーリング連盟	阿部 幸久	村中 莉子 井口 梨沙	
55517	福岡第一高校/福岡セーリングクラブ	今村 公彦	坂口 美結 中山 瑠梨	
57473	NPOSAGA SAILING	中山 英弘	久保田 結花 宮口 釉美	
57428	宮城県セーリング連盟	伊藤 嘉宣	伊勢 あかり 遠藤 日向子	
55628	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	姫島 唯華 山形 咲公	

2026年全日本セーリング選手権大会

420級 オープン参加

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
56932	福岡第一高校/福岡セーリングクラブ	今村公彦	川上 渚 永見 宗一朗	

2026年全日本セーリング選手権大会

ILCA7級 成年男子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
176881	TEAM ZERO	黒田 俊子	黒田 武士	
220186	長崎県セーリング連盟	西村 隆	奥田 耕大	
222431	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	折田 広大	
204490	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	木田 丞志郎	
219175	(株)豊田自動織機	石川 雅浩	神谷 空弥	
223207	(株)豊田自動織機	石川 雅浩	杉浦 博之	

2026年全日本セーリング選手権大会

ILCA6級 成年女子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
220187	NPOSAGA SAILING	中山 英弘	黒田 美海	
217051	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	中村 アンナ	
225719	Wakako Racing	吉岡 武史	梶本 和歌子	
226777	(株)豊田自動織機	石川 雅浩	柿元 麻衣	

2026年全日本セーリング選手権大会

ILCA6級 少年男子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
217108	福岡第一高校/福岡セーリングクラブ	今村 公彦	久松 志摩	
228805	広島県セーリング連盟	豊澄 智己	豊澄 隆成	
114659	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	廣池 颯	
214971	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	渡邊 逸聡	
184010	鹿屋高校	坂口 陽平	坂口 陽基	
220186	NPOSAGA SAILING	中山 英弘	金子 琉和	
211158	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	新名 大河	
215351	長野県セーリング連盟	本山 誠	水藤 大志	
211034	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	田口 湊大	

2026年全日本セーリング選手権大会

ILCA6級 少年女子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
217022	長野県セーリング連盟	本山 誠	竹沢 幸来	
211522	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	四角 彩花	
181192	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	森田 莉央	

2026年全日本セーリング選手権大会
国スポウインドサーフィン級 成年男子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
41	NPOSAGA SAILING	中山 英弘	倉持 大也	
723		坂口 智彦	坂口 智彦	
42	長崎県セーリング連盟	西村 隆	水田 長兵	
44	合浦ヨットクラブ	会津 友稀	堀内 大輔	
461	鹿児島市消防局、錦江湾マリン		廣津 秀治	
33	岡山県セーリング連盟	條本 和宏	條本 和宏	
40	東栄住宅/福岡県セーリング連盟	吉岡 岳史	村田 高亮	
464			今林 大亮	
45	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	三浦 圭	
46	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	有園 昂世	
2	(株)豊田自動織機	石川 雅浩	靱山 和慶	
1	(株)豊田自動織機	石川 雅浩	重光 英孝	

2026年全日本セーリング選手権大会
国スポウインドサーフィン級 成年女子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
43	熊本県セーリング連盟	村上 裕一	川端 貴美可	
45	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	新嶋 莉奈	
41	NPOSAGA SAILING	中山 英弘	倉持 優帆	

2026年全日本セーリング選手権大会

テクノ293級 成年男子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
7677	宮崎大学		坂本 壮	
76-13	宮崎大学医学部	川本 航	川本 航	
91-4	福岡大学 breezin'	平井 郁仁	高柳 真志	
9973	長崎大学ウィンドサーフィン部		及川 晴弘	
441	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	黒石 勇次	

2026年全日本セーリング選手権大会

テクノ293級 成年女子

セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
76-17	宮崎大学	川本 航	木藤 伶美	
78-20	大分大学		村田イッカラ聡子	
78-25	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	本村 藍叶	

【過去の栄冠】

—全日本実業団選手権大会—

(第 1～20回)

大会の 回 数	開催期日 (西暦) 自 至	開 催 地	艇種等 (注1)	優 勝 者 (* 高松宮妃賜杯授与先) (注2)	所属 水域	成立した レースの 回数	参加チ ーム数 (注3)
第 1 回	55. 11. 3 5	滋賀県大津市 琵琶湖柳ヶ崎	S、A 級総合	* (株) 島 津 製 作 所	近畿北陸	決勝7回戦	17
第 2 回	56. 11. 2 4	〃	〃	* (株) 中 井 商 店	関東		
第 3 回	57. 8. 24 25	三重県四日市市	〃	* 田 辺 製 薬 (株)	関西		
第 4 回	58. 11. 3 4	神奈川県三浦郡 葉山鑑摺	〃	* 巴 工 業 (株)	関東		
第 5 回	59. 8.	愛知県常滑市	〃	* 〃	〃		
第 6 回	60. 11.	滋賀県大津市 琵琶湖柳ヶ崎	〃	* リ ッ カ ー ミ シ ン (株)	〃		
第 7 回	61. 8.	神奈川県横浜市	〃	* 巴 工 業 (株)	〃		
第 8 回	62. 11. 2 4	山口県光市 室積	S F	* 大 津 市 役 所 (株) 日立製作所・松下電工(株)	近畿北陸 関東・関西	5 5	18 18
第 9 回	63. 11. 8 10	兵庫県西宮市 西宮	S	* 山 村 硝 子 (株)	関西	3、別に予選2	〃
第 10 回	64. 11. 1 3	滋賀県大津市 琵琶湖柳ヶ崎	〃	* (株) 大 丸 京 都 店	近畿北陸		20
第 11 回	65. 11. 1 3	神奈川県藤沢市 江の島	S F	* 〃 (株) 日 立 製 作 所	近畿北陸 関東	4、別に予選2 5	18 7
第 12 回	66. 11. 3 6	茨城県土浦市 霞ヶ浦	S	* (株) 日 立 製 作 所	関東	7(内上位6)	19
第 13 回	67. 11. 2 5	愛知県蒲郡市	〃	* (株) 豊 田 自 動 織 機 製 作 所	中部	〃 (〃)	20
第 14 回	68. 11. 2 5	長崎県長崎市	〃	* 本 田 技 研 工 業 (株) 浜 松 製 作 所	〃		
第 15 回	69. 9. 20 23	岩手県宮古市 磯鶏	〃	* 武 田 薬 品 工 業 (株) 光 工 場	中国	3、別に予選3	20
第 16 回	70. 10. 31 11. 3	和歌山県和歌山市 新和歌浦	〃	* 新 日 本 製 鉄 (株) 光 製 鉄 所	〃	8(A、B各組4)	〃
第 17 回	71. 11. 20 23	鹿児島県鹿児島市 錦江湾平川	〃	* 武 田 薬 品 工 業 (株) 光 工 場	〃	〃 (〃)	〃
第 18 回	72. 11. 2 5	千葉県館山市 館山湾	〃	* 〃	〃		26
第 19 回	73. 11. 1 4	茨城県土浦市 霞ヶ浦	〃	* 近 江 鉄 道 (株)	近畿北陸	6	22
第 20 回	74. 11. 1 4	三重県津市 伊勢湾	S 470	* 武 田 薬 品 工 業 (株) 光 工 場 新 日 本 製 鉄 (株) 光 製 鉄 所	中国 中国	5 5	22 21

(注1) 艇種は、Sが国際スナイプ級、Aが12フィートディンギー、Fがフィン級、470が国際470級を表す。

(注2) 高松宮妃賜杯は、'04年12月18日妃殿下薨去以降は妃記念杯として引き継がれている。

(注3) 参加チーム数は、全日本選手権大会予選等各水域大会参加数を含まない。

【過去の栄冠】

—全日本実業団選手権大会—

(第21～40回)

大会の 回 数	開催期日 (西暦) 自 至	開 催 地	艇種等 (注1)	優 勝 チ ー ム (* 高松宮妃賜杯授与先) (注2)	所属 水域	成立した レースの 回数	参加チ ーム数 (注3)
第 21 回	75. 10. 30 11. 2	神奈川県藤沢市 江の島	S 470	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所 "	中部 "	2 3	22 22
オープン	76. 7. 24 26	青森県青森市 浅虫	" "	* " 関 東 自 動 車 工 業 (株)	" 関東	 	" "
第 22 回	76. 10. 8 11	福岡県福岡市 博多湾小戸	" "	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所 関 東 自 動 車 工 業 (株)	中部 関東	8(A、B各組4) 5	" "
第 23 回	77. 10. 21 24	長野県諏訪市 諏訪湖	" "	* 三菱重工業(株)広島造船所 興 亜 火 災 海 上 保 険 (株)	中国 関東	5 5	" "
第 24 回	78. 11. 2 5	大阪府泉南郡 岬町淡輪	" "	* 三菱重工業(株)広島造船所 興 亜 火 災 海 上 保 険 (株)	中国 関東	" "	" 21
第 25 回	79. 9. 27 30	愛知県蒲郡市	" "	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所 "	中部 "	" "	22 21
第 26 回	80. 11. 1 4	滋賀県大津市 琵琶湖際川	" "	* " "	" "	4 4	22 20
第 27 回	81. 7. 7 10	鹿児島県鹿児島市 錦江湾平川	" "	* " "	" "	5 5	20 16
第 28 回	82. 9. 9 12	長野県諏訪市 諏訪湖	" "	* 関 東 自 動 車 工 業 (株) (株)豊田自動織機製作所	関東 中部	" "	22 22
第 29 回	83. 11. 8 10	兵庫県芦屋市 浜風町	" "	* 関 東 自 動 車 工 業 (株) "	関東 "	" "	22 20
第 30 回	84. 11. 1 4	鳥取県境港市 新屋町	" "	* 三菱重工業(株)広島造船所 (株)日立製作所	中国 関東	4 4	22 21
第 31 回	85. 10. 10 13	山梨県山中湖村	" "	* 関 東 自 動 車 工 業 (株) 山 梨 県 庁	関東 関東	5 5	22 21
第 32 回	86. 10. 31 11. 3	沖縄県宜野湾市	" "	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所 沖 縄 県 庁	中部 九州	4 5	21 20
第 33 回	87. 10. 8 11	京都府宮津市	" "	* 関 東 自 動 車 工 業 (株) "	関東 "	5 5	22 22
第 34 回	88. 9. 22 25	北海道江差町	" "	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所 立 石 電 気 (株)	中部 近畿北陸	" "	22 21
第 35 回	89. 10. 7 10	福岡県福岡市 博多湾小戸	" "	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所 関 東 自 動 車 工 業 (株)	中部 関東	" "	22 20
第 36 回	90. 9. 21 24	石川県羽咋市 滝港マリーナ	" "	* 新日本製鉄(株)光工場 N T T 関 西 支 社	中国 関西	4 4	21 22
第 37 回	91. 9. 26 29	山形県温海町 鼠ヶ関マリーナ	" "	* 和 泉 電 気 (株) (株)リクルート	関西 関東	1 1	23 21
第 38 回	92. 10. 15 18	香川県仁尾町 仁尾マリーナ	" "	* 関 東 自 動 車 工 業 (株) N T T 関 西 支 社	関東 関西	5 5	22 21
第 39 回	93. 10. 8 11	愛知県蒲郡市 海陽ヨットハーバー	" "	* 関 東 自 動 車 工 業 (株) 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	関東 中部	" "	25 25
第 40 回	94. 9. 22 25	福島県いわき市 いわきサンマリーナ	" "	* ニ ッ テ ツ 電 子 (株)大丸京都店	中国 近畿北陸	5 5	22 21

(注1) 艇種は、Sが国際スナイプ級、Aが12フィートディンギー、Fがフィン級、470が国際470級を表す。

(注2) 高松宮妃賜杯は、'04年12月18日妃殿下薨去以降は妃記念杯として引き継がれている。

(注3) 参加チーム数は、全日本選手権大会予選等各水域大会参加数を含まない。

【過去の栄冠】

—全日本実業団選手権大会—

(第41～60回)

大会の 回 数	開催期日 (西暦) 自 至	開 催 地	艇種等 (注1)	優 勝 チ ーム (* 高松宮妃賜杯授与先) (注2)	所属 水域	成立した レースの 回数	参加チ ーム数 (注3)
第 41 回	95. 10. 7 10	広島県安芸郡 音戸町大浦崎公園	S 470	* マ ツ ダ (株) 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中国 中部	3 3	25 23
第 42 回	96. 10. 10 13	大阪府泉南郡 岬町淡輪	// //	* マ ツ ダ (株) ヤマハ 発 動 機 (株)	中国 中部	7 7	26 23
第 43 回	97. 10. 9 12	神奈川県藤沢市 湘南港ヨットハーバー	// //	* (株) 豊田自動織機製作所 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部 中部	4 6	25 25
第 44 回	98. 10. 8 11	熊本県宇土市 宇土マリーナ	// //	* (株) 豊田自動織機製作所 ヤマハ 発 動 機 (株)	中部 中部	4 4	23 24
第 45 回	99. 10. 8 11	富山県新湊市	// //	* 本田技研工業(株)熊本製作所 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	九州 中部	6 6	23 14
第 46 回	00. 10. 6 9	宮城県名取市 関上特設ヨットハーバー	// //	* 三菱重工業(株) 広 島 本 田 技 研 工 業 (株)	中国 中部	5 6	24 14
第 47 回	01. 10. 5 8	高知県夜須町 夜須特設セーリング会場	// //	* ワ ッ カ ー ・ N S C E (株) 東 亜 建 設 工 業 ヨ ッ ト 部	中国 関東	6 7	26 20
第 48 回	02. 10. 11 14	静岡県御前崎町 御前崎港特設マリーナ	// //	* 本田技研工業(株)熊本製作所 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	九州 中部	7 7	25 15
第 49 回	03. 10. 10 13	東京都江東区 若洲ヨット訓練所	// //	* ワ ッ カ ー ・ N S C E (株) ミ キ ハ ウ ス	中国 関東	3 3	22 11
第 50 回	04. 10. 9 11	愛知県蒲郡市 海陽ヨットハーバー	// //	* アイシン・エーアイ(株) 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部 中部	5 5	27 9
第 51 回	05. 10. 7 10	兵庫県西宮市 新西宮ヨットハーバー	// //	* 本田技研工業(株)熊本製作所 トヨタ自動車(株) B	九州 中部	7 7	30 15
第 52 回	06. 9. 15 18	秋田県男鹿市船川港 特設セーリング会場	// //	* 本田技研工業(株)熊本製作所 (株)エス・ピー・ネットワーク	九州 九州	6 6	19 7
第 53 回	07. 11. 22 25	大分県別府市 北浜ヨットハーバー	// //	* (株)エス・ピー・ネットワーク (株)エス・ピー・ネットワーク	九州 九州	5 5	22 4
第 54 回	08. 9. 12 15	新潟県北蒲原郡 聖籠町網代浜	// //	* (株) 豊田自動織機 (株)エス・ピー・ネットワーク	中部 九州	7 8	22 9
第 55 回	09. 9. 20 22	千葉県千葉市 稲毛ヨットハーバー	// //	* アイシン・エーアイ(株) (株)エス・ピー・ネットワーク	中部 九州	6 7	22 4
第 56 回	10. 8. 26 29	山口県光市 スポーツ交流村	// //	* 本田技研工業(株)熊本製作所 (株)エス・ピー・ネットワーク	九州 関東	7 7	21 8
第 57 回	11. 9. 16 19	愛知県蒲郡市 海陽ヨットハーバー	// //	* アイシン・エーアイ(株) (株)エス・ピー・ネットワーク	中部 関東	7 7	23 12
第 58 回	12. 9. 14 17	東京都江東区 若洲ヨット訓練所	// //	* アイシン・エーアイ(株) (株)エス・ピー・ネットワーク	中部 関東	6 7	18 28
第 59 回	13. 9. 14 16	長崎県長崎市 長崎サンセットマリーナ	// //	* (株)エス・ピー・ネットワーク (株)ベネッセホールディングス	関東 中国	4 6	16 6
第 60 回	14. 9. 13 15	和歌山県和歌山市 和歌山セーリングセンター	// //	* アイシン・エーアイ(株)ヨット部 (株) 豊田自動織機	中部 中部	6 6	48 5

(注1) 艇種は、Sが国際スナイプ級、Aが12フィートディンギー、Fがフィン級、470が国際470級を表す。

(注2) 高松宮妃賜杯は、'04年12月18日妃殿下薨去以降は妃記念杯として引き継がれている。

(注3) 参加チーム数は、全日本選手権大会予選等各水域大会参加数を含まない。

【過去の栄冠】

—全日本実業団選手権大会—

(第61～71回)

大会の 回 数	開催期日 (西暦) 自 至	開 催 地	艇種等 (注1)	優 勝 チ ー ム (* 高松宮妃賜杯授与先) (注2)	所属 水域	成立した レースの 回数	参加チ ーム数 (注3)
第 61 回	15 10 10 12	岩手県宮古市 リアスハーバー宮古	S 470	三 菱 重 工 業 (株) 広 島 * (株)エス・ピー・ネットワーク (株)エス・ピー・ネットワーク	中国 関東 関東	5 5	15 2
第 62 回	16 9 17 19	愛媛県新居浜市 新居浜マリーナ	// //	* 三 菱 重 工 業 (株) 広 島 (株)エス・ピー・ネットワーク	中国 関東	3 4	19 8
第 63 回	17 9 8 10	福井県高浜町 若狭和田マリーナ	// //	* (株)エス・ピー・ネットワーク (株)エス・ピー・ネットワーク	関東 関東	5 5	22 5
第 64 回	18 10 26 28	茨城県阿見町 阿見町霞ヶ浦セーリング特設会場	// //	* グッドホールディングス(株) (株)エス・ピー・ネットワーク	関西 関東	5 5	18 5
第 65 回	19 9 14 16	鹿児島県鹿児島市 鹿児島市平川特設セーリング会場	// //	* HIK Office (株)エス・ピー・ネットワーク	関東 関東	5 6	19 5
第 66 回		中止					
第 67 回		中止					
第 68 回	22 9 23 25	広島県広島市 広島観音マリーナ デインギヤード	// //	* (株) ア イ シ ン (株)ピアソンマリンジャパン	中部 関西	8 8	16 9
第 69 回	23 9 16 18	佐賀県唐津市 佐賀県ヨットハーバー	// //	* (株) ア イ シ ン 医 療 法 人 才 全 会	中部 九州	3 4	16 3
第 70 回	24 9 14 16	滋賀県大津市 滋賀県立柳が崎ヨットハーバー	// //	湘南サニーサイドマリーナヨットクラブ .B. * (株)エス・ピー・ネットワーク (株)豊 田 自 動 織 機 A	関東 関東 中部	4 4	22 3
第 71 回	25 9 13 15	青森県むつ市 太平マリーナ特設セーリング会場	// //	* (株) ア イ シ ン 平 成 医 会	中部 関東	6 6	16 7
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							

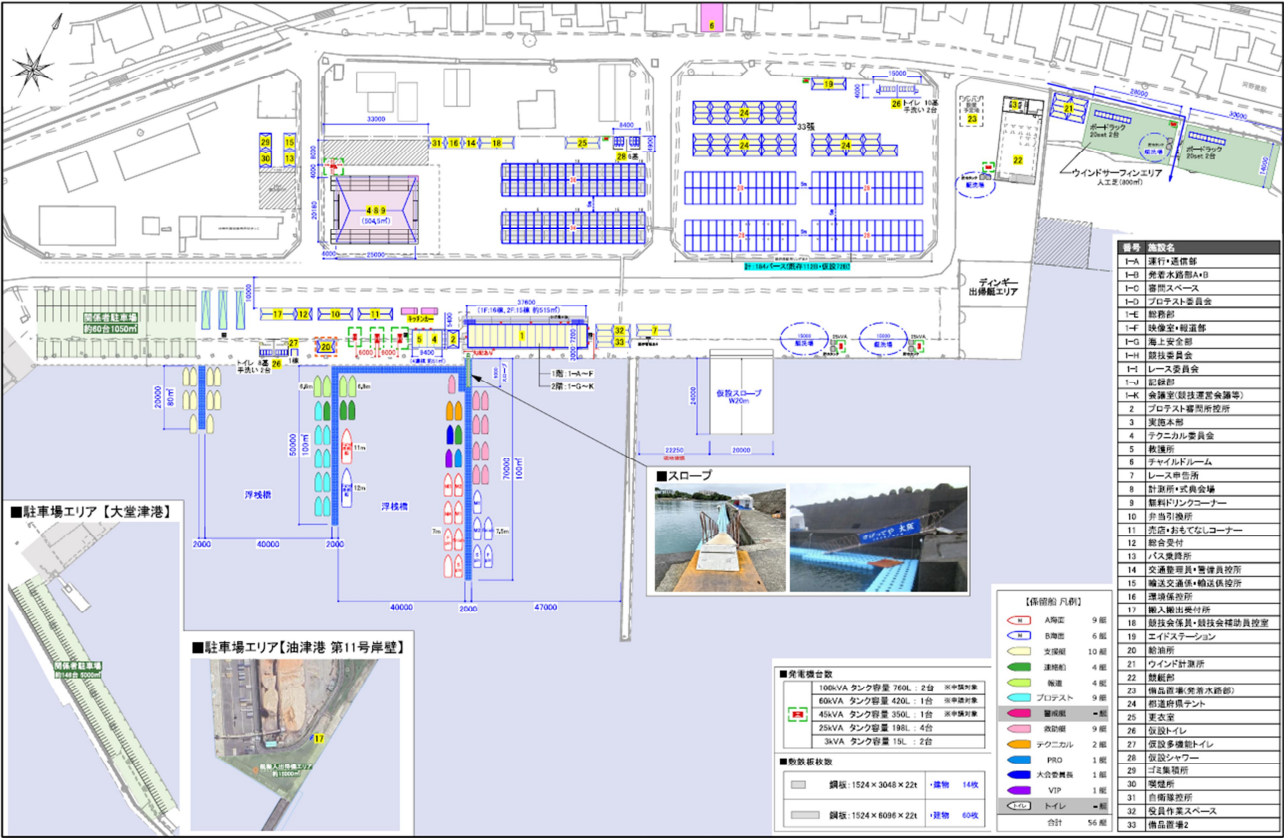
(注1) 艇種は、Sが国際スナイプ級、Aが12フィートデインギー、Fがフィン級、470が国際470級を表す。

(注2) 高松宮妃賜杯は、'04年12月18日妃殿下薨去以降は妃記念杯として引き継がれている。

(注3) 参加チーム数は、全日本選手権大会予選等各水域大会参加数を含まない。

(注4) 高松宮妃記念杯は、スナイプ級における「同一企業メンバーで構成されたチームのうち最優秀チーム」に授与される為優勝チームとは異なることがある(第61回大会)

会場図・会場周辺図



関係者連絡先一覧

◆事務局

名 称	電話番号	名 称	電話番号
国スポ・障スポ推進室	0987-27-3333	競技担当（谷口）	090-3076-3438
競技担当（汐口）	090-6899-5551	競技担当（富永）	090-5731-9273

◆医療機関

（１）医療機関一覧

名 称	QRコード
日南市内の医療機関	右記二次元コードまたは、 「日南市小児救急医療ガイド」で検索し、 「16.日南市内の医療機関」をご覧ください。 

（２）日曜・祝日在宅当番医（令和8年8月23日（日）のみ）

名 称	電話番号	名 称	電話番号
福岡医院（内科・循環器科）	0987-32-1711	かわにし脳神経外科 （脳神経外科、神経内科）	0987-27-3330

◆関係業者

名 称	電話番号	名 称	電話番号
【会場設営】 TSP 太陽（風間）	080-4318-5762	【警備】 セキュリティロード（鶴田）	080-4433-8504
【会場設営】 平和リース（野村）	080-5215-8024	【音響】 ステージ RAN（福島）	090-7155-3905
【艇搬入・搬出】 TSP 太陽（近藤）	080-8163-8154		

◆タクシー会社

名 称	電話番号	名 称	電話番号
南光タクシー	0987-23-5131	宮交タクシー	0987-23-4141
第一タクシー	0987-23-1221		

日本のひなた宮崎国スポリハーサル大会セーリング競技会

チャイルドルームのご案内



場 所：日南市大堂津特設セーリング会場

実 施 日：2026 年 8 月 22 日(土) ～ 8 月 24 日(月)

開設時間：8 月 22 日(土)、23 日(日) 8：30～16：30

8 月 24 日(月) 8：30～14：00

対 象：選手・大会役員・大会関係者のお子様（0 歳～6 歳程度）
が無料でご利用頂けます。

- 乳幼児の授乳・おむつの取り換えなどの部屋をご用意
- 休憩中の乳幼児の一時的な託児をお手伝い

申し込み：8月10日(月)までに下記 URL より申し込みください

<https://ws.formzu.net/dist/S618102133/>

主 催：（公財）日本セーリング連盟 レディース委員会

協 力：日本のひなた宮崎国スポ・障スポ日南市実行委員会/宮崎県セーリング連盟

プログラム記載事項訂正届

レース委員会 御中

チーム名 _____

監督名 _____

下記のとおり、記載事項に誤りがありましたので、訂正をお願いいたします。

頁	行	誤	正

提出先：レース委員会

提出期限：令和8年8月22日（土）午後13時 厳守

海幸、山幸、人幸。
日南
日南には、幸がある。



Nichinan, Japan's Sunny Spot



JR九州 「海幸・山幸」



飢肥城

名物「地鶏の炭火焼き」

名物「鰹丼」

鶏戸神宮

モアイ像

日南には「幸」がある。



にちなんちゃ様



本大会公式HP



市実行委員会HP



市実行委員会
Instagram

つむぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会



第26回全国障害者スポーツ大会